



水煙土器（すいせんもんどぎ）：水煙が上がるような圧倒的な躍動感。約4500年前（曲輪田）



天目茶碗（てんもくちやわん）：抹茶を飲むための器。愛知県の瀬戸で焼かれたもの。16世紀（古市場）



長頸壺（ちようけいこ）：静岡県で焼かれた。灰の釉が素朴で美しい。10世紀（十日市場）



高坪（たかつぎ）：儀式に用いられた器。5世紀（船沢）

今回紹介した器は、全て「ふるさと文化伝承館」に展示されています。また、さらに詳しく知りたい方は、市内各所でしている冊子、**無料配布!**

『大地の記憶— 道跡から未来へ—』  
をご覧ください。



高坪（たかつぎ）：弧状に連なる文様が繊細で美しい。4世紀（寺部）

市内には、四五〇ヶ所を超える遺跡が眠り、発掘調査によって毎年様々な遺物が発見されています。これら足元で眠っていた器は、発見された時には泥にまみれ、粉々に割れてしまっていることがほとんどですが、破片をつなぎ、スポットライトを当てると、時にみごとな機能美、造形美を見せてくれることがあります。中には、遠方から運ばれたものもあり、先祖の偉品へのあこがれや想いも知ることが出来ます。文／写真 文化財課



甗（こしぎ）：下に設置した器でお湯を沸かし、底面の穴から上がる蒸気で食物を蒸すために用いた器。6世紀（徳永）



有孔罎付土器（ゆうこうつぼつぎどぎ）：躍動する人体文様が目を引く、世界的にも著名な土器。国の重要文化財。酒造に用いられたとも言われる。約5000年前（下市之瀬）



須恵器の甗（すえきのかめ）：焼成中に窯の中で歪んでしまった不良品だが、なかなか味わいのある造形を見せる。周辺からは、同様の出荷できない不良品が多く見つかっており、近隣に窯があったことを暗示する。10世紀（野牛島）

# ふるさと の127 誇り



## 発掘された器の美 市内出土品コレクション



甗（はそう）：古墳での儀式に使われた土器。現在の大阪府で造られ、わざわざ運ばれた。5世紀（寺部）

南アリス市  
**ふるさと博物館**  
Furuato Maru-Maru Museum

3月3日  
開館  
無料配布

こんにちは めっけたけんど どもで！  
ふるさと〇〇博物館 地域のお宝発見報告会&まちあるき(八田地区)開催！！

平成30年初の「ふるさと〇〇博物館（ふるさとまるまるはくぶつかん）」オープンへ向け、市では地域の歴史資源の掘り起こし調査をはじめました。今回は、みなさんに市のすすめる「ふるさと〇〇博物館」事業とは何かを知っていただくとともに、八田地区を舞台に、今回新たに発見された地域の「お宝」を紹介し、さらには実際に八田地区を歩いて、初見風景の中に見つけた新たな「物語」を探りに行きたいと思っております。

時間：9時～12時30分ごろ 場所：高度農業情報センター（ふれあい情報館）  
※ホールでの報告会の後、10時過ぎを目安に八田地区のまちあるきに出発します。  
申し込み/問い合わせ：Tel 055-282-7408（ふるさと文化伝承館）